

はじめてスペイン語を
学ぶ人も大歓迎！

地域コミュニティ言語講座@iCoToBa

医療現場で役立つスペイン語入門講座その2

Comunicación Básica con pacientes de habla hispana en hospitales japoneses.

日時：10月13日、20日、27日、11月10日、17日

（金曜日5限 16:10～17:40）

教室：iCoToBa Activity Space 担当：セルヒオ・ネリ先生



この講座では、病院などで必要になる、病気の症状や基本的な情報を伝え・聞く方法を学びます。

将来病院や介護施設で働きたいと考えているみなさんにとって、少しでもスペイン語を知っておくことは、将来きっと役に立つでしょう。スペイン語を初習者の人にとっても学びやすいコースなので、ぜひチャレンジしてみてください。

申し込み：直接iCoToBa受付で申し込み、またはメールで（宛先：icotoba@for.aichi-pu.ac.jp）

必ず件名に「スペイン語講座申込」と明記すること

定員：16名 ※申込期限：10月13日（金曜日）17:00



[各回のテーマ]

- 第1回 (10月13日) 「お名前を教えてください」 —患者の基本情報を尋ねる
- 第2回 (10月20日) 「痛みはありますか」 — 体の名称と痛みを説明する
- 第3回 (10月27日) 「具合はどうですか」 — 症状を訊く
- 第4回 (11月10日) 「風邪ですね」 — 病気について説明する
- 第5回 (11月17日) 「何をしたらいいですか」 — すべきことを説明する



ネリ先生からのメッセージ

もし、外国で病気になったらどうしますか？ 具合が悪い時に、外国語で話すのはとても大変です。こんなとき少しでもあなたが手助けできるように、病院での会話を学びましょう。

そして、ぜひ、相手に寄り添う気持ちをもって、地域に住む「スペイン語を母語とする人々」の手助けをしてあげてください。患者と医療スタッフとの橋渡しができたら、あなたの心もきっと温かくなるでしょう。



質問や申し込みは iCoToBa 受付まで！

